

令和 8 年ホヤ類調査結果速報 No. 2

令和 8 年 7 月 31 日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見るができます。

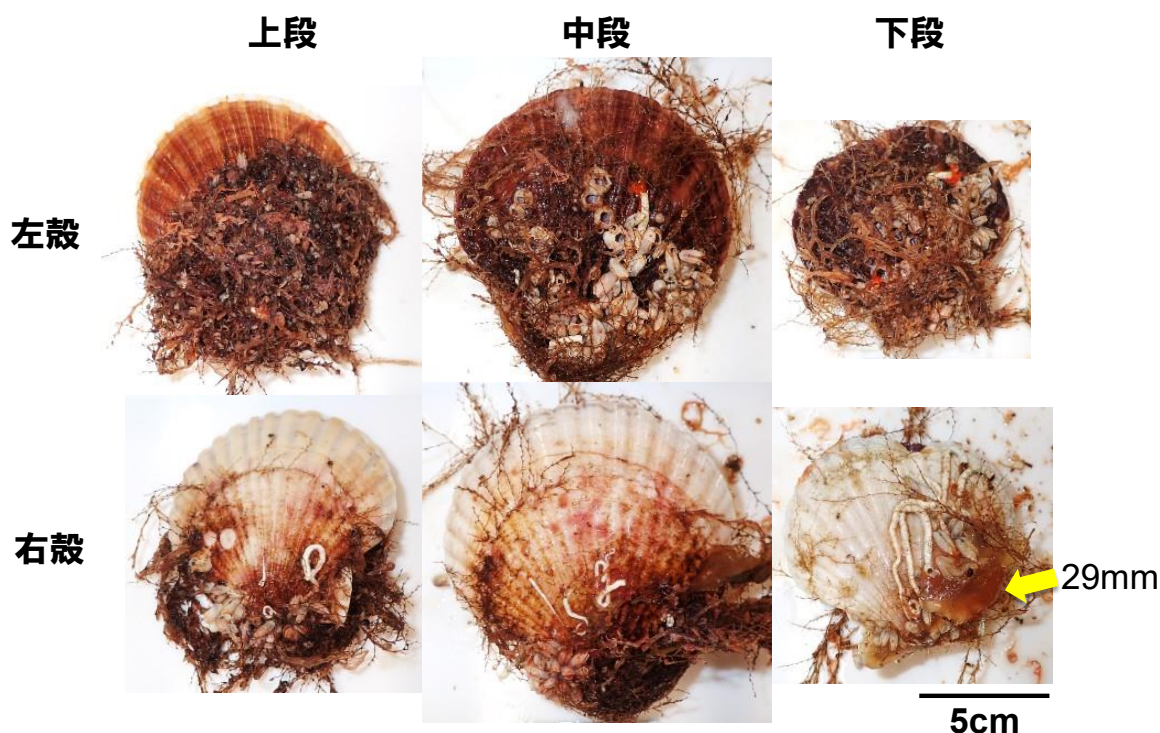
【アドレス：<https://www.hro.or.jp/fisheries/research/hakodate/index.html>】

7 月 21 日に渡島管内八雲町内浦地区で耳吊ホタテガイ付着物調査および海洋環境調査を実施しました。

結果概要

- **ヨーロッパザラボヤの付着数は昨年よりも多い。**
ホタテガイ 1 枚あたりの付着数は 5.9 個/枚であり、昨年同時期（1.5 個/枚）を上回りました。
- **付着個体の大半は最近付着したとみられる体長 5mm 未満。**
付着数が前回から増加し、小型個体が大半であることから、新規付着が続いているとみられます。
- **水温は深い層で平年および昨年よりも高い。**
深度 24m まで産卵開始水温（13℃）を超えました。平年よりも深い水深帯に生息するヨーロッパザラボヤも産卵を開始していると考えられます。

写真 ホタテガイに付着したヨーロッパザラボヤ 令和 8 年 7 月 21 日 八雲町内浦地区



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 水上・馬場 TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和 8 年度有害生物（ザラボヤ）出現情報収集・解析及び情報提供事業で実施しています。

耳吊りホタテ貝付着物調査

【調査月日：7月21日、調査場所：八雲町内浦沖、採取数：上中下層 各5枚】

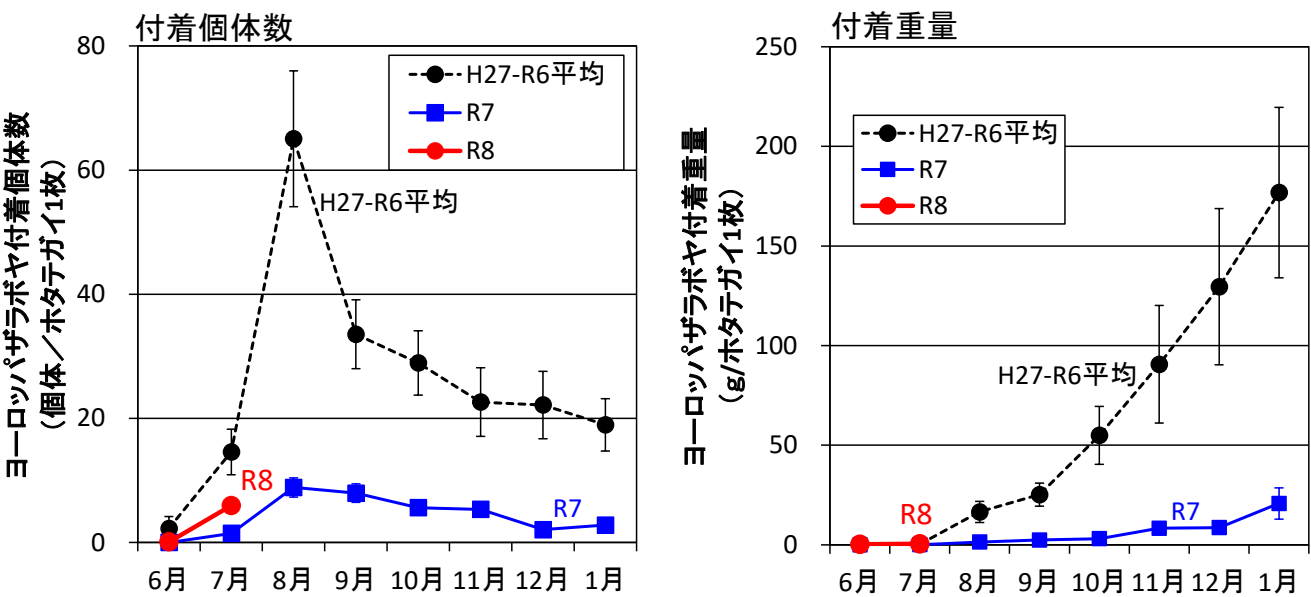
ホタテガイを上層、中層、下層から5枚ずつ抽出し、肉眼及び実体顕微鏡を用いて、付着物を調査しました(写真)。ヨーロッパザラボヤの平均付着数はホタテガイ1枚あたり5.9個体であり、平年(H27~R6年の平均値、以降同様)を下回りましたが、昨年を上回りました(表1、図1)。また、付着したヨーロッパザラボヤの体長は5mm未満が大半を占めており(図2)、現在新規付着が続いているとみられます。

水温は10mよりも深い層で平年および昨年よりも高いです(図3)。ヨーロッパザラボヤの産卵開始水温(13℃)を超えた深度は最大24mであり、平年および昨年よりも深い層まで産卵開始水温を超過しました(図3)。このことから、今年は平年や昨年よりも深い水深帯に生息するヨーロッパザラボヤが産卵を開始している可能性があり、付着開始時期が早い可能性があります。平年の付着数のピークは8月であり(図1左)、8月の付着数とその年の付着水準を大きく左右しますので、来月の調査結果を注視してください。

表1 付着生物調査結果(八雲町内浦地区：令和8年7月21日)

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	地区平均
全付着物重量	31.1g	21.7g	17.8g	23.5g
ヨーロッパザラボヤ	0.3g	0.2g	0.9g	0.5g
その他	7.3g	2.0g	2.5g	3.9g
ヨーロッパザラボヤ個体数	4.2個体	5.2個体	8.4個体	5.9個体
令和7年7月(R7.7.22)の個体数	1.4個体	1.6個体	1.4個体	1.5個体
令和6年7月(R6.7.16)の個体数	7.8個体	11.8個体	14.6個体	11.4個体
令和5年7月(R5.7.18)の個体数	2.4個体	7.2個体	2.8個体	4.1個体

図1 ヨーロッパザラボヤの付着量の季節変化



左：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化
右：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化
各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。

図 2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲町内浦地区：令和 8 年 6～7 月）

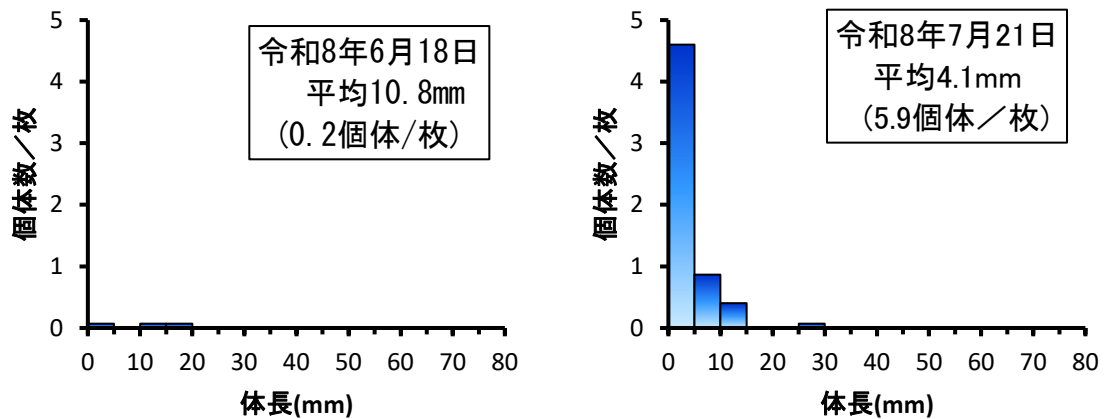
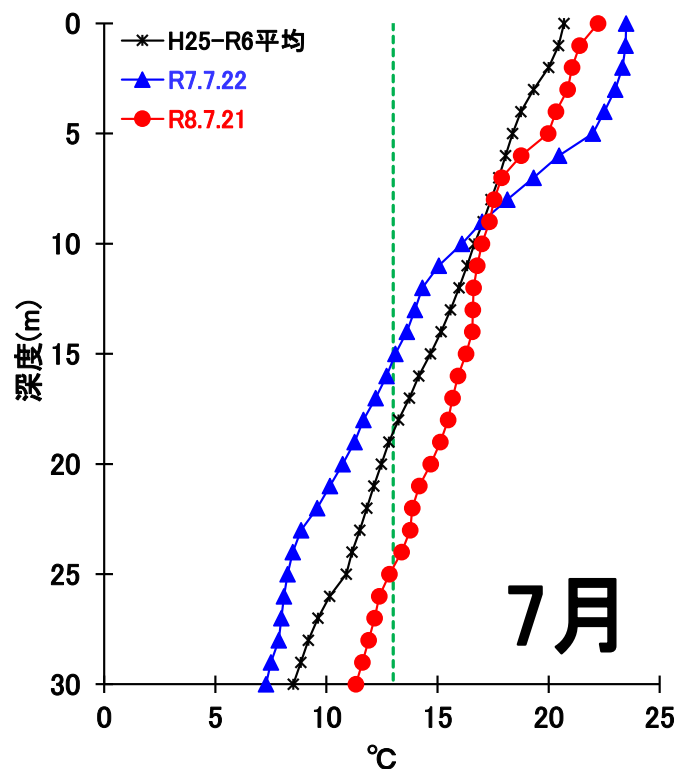


図 3 調査地点近傍（八雲沖 3 マイル）の令和 8 年 7 月 21 日の水温の鉛直分布

● : R8 年、▲ : R7 年、× : H27-R6 平均 — : ヨーロッパザラボヤの産卵開始水温 (13℃)



今年度の見通し

これまで蓄積されたヨーロッパザラボヤの付着状況調査のデータについて整理したところ、その年の付着数の最高値は、前年度調査の 1 月の付着重量が重いほど、また、その年の 8～9 月の平均水温が低いほど付着数が多くなる傾向がわかりました（試験研究は今 No.1044：<https://www.hro.or.jp/upload/56146/ima1044.pdf>）。令和 7 年度の 1 月調査の付着重量は過去平均を大きく下回っており（図 3）、例年と比べて、今年度の付着数は低水準になることが見込まれます。ただし、今後、8～9 月にかけて水温が低くなるようであれば、ヨーロッパザラボヤの付着数が増加する恐れがありますので、今後の水温動向も注視していきましょう。